（様式1）

　　令和　　年　　月　　日

令和７年度滋賀県アートコラボレーション事業　ホールプロデュース部門 企画提案書

提案者 所在地 〒

団体名

代表者名 ㊞

（担当者　　　　　　　　　　　　　　　）

令和７年度 滋賀県アートコラボレーション事業について、関係書類を添えて提案します。

【団体の概要】※以下にチェックをつけてください。

□ホール管理者　□実行委員会　□法人格を有する団体　□任意団体　□その他（　　　　　　　）

【応募企画】　※以下のいずれか、あるいは両方にチェックをつけてください。

□　県内文化ホールで開催する舞台芸術公演

□　アウトリーチ、ワークショップ、クリニックなどの普及・育成事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| ジャンル |  |
| 実施会場 |  |
| 実施時期 | ※未定の場合は、いつごろ決定するかをご記載ください。 |
| 事業内容 |  |
| 入場料金 |  |
| 入場者見込数  （参加者） |  |
| 出演者・団体 |  |
| 曲目・演目 |  |
| 広報の方法 |  |
| 主催者等  （共催、後援、協力等の表記） |  |

■事業内容　（記載内容をもとに「実現可能性」を審査します。）

■この事業を実施したいと考える理由は何ですか？

（記載内容をもとに「必要性」・「発展可能性」を審査します。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の背景、  申請に至る経緯、  現在の課題 |  |
| 事業の目的、  期待する効果や変化、  今後の展望 |  |

■事業に関わる地域の団体、創作者などの名前を記載してください。（記載内容をもとに「波及性」を審査します。）

　※　出演者、参加者、協力者、支援者など、なるべく具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名・団体名 | 役割 |
|  |  |

■この事業のアピールポイントは何ですか？（記載内容をもとに「チャレンジ性」を審査します。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の独創性、  地域や提案者にとって  この事業のチャレンジしている点や工夫している点　など |  |
| 提案者が継続的に実施してきた事業の場合は、  今回特に協働を希望する理由 |  |

■どのような情報保障をつけますか？　下記の該当するものに○で囲ってください。

　手話通訳・日本語字幕・ヒアリングループ・点字パンフレット・音声案内

・カームダウンスペースの用意・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・財団に相談したい

■申請者が文化ホールでない場合は、どのようにホールの協力を得られるか、記載してください。※申請者が文化ホールである場合は、下記は空欄で構いません。

|  |  |
| --- | --- |
| 文化ホールに事業内容を相談しましたか？　事業内容に対する文化ホールのコメントを簡単に記入してください。 |  |
| 事業の運営にあたり、文化ホールからどのような協力を予定していますか？　確定している内容と計画段階の内容、いずれかわかるようにご記入ください。 |  |